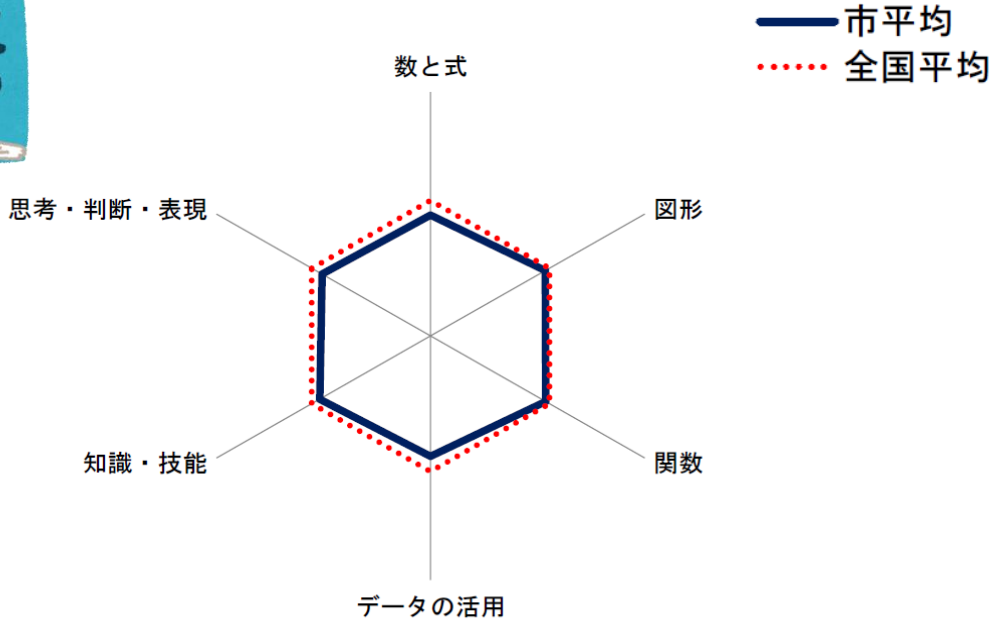




新居浜の中学生は、全体として「全国平均よりやや低い」調査結果でした。



よくできていた
 数学問題

「数と式」の領域では、問題場面における考察の対象を明確に捉え、計算結果を求めることができていました。数と整式の乗法の計算の正答率は他の問題に比べ高めました。

データの活用の領域で、箱ひげ図の箱に着目し説明する問題について、正答率が低く、無解答率が高くなりました。指導に当たって、データの分布の傾向を読み取って判断し、その理由を箱ひげ図の箱の位置や四分位数などを用いて説明できるようにすることが大切であると捉えています。

結果を受けてこれから
 取り組んでいきたいこと

「関数」の領域で、事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することに課題が見られました。数学を活用して様々な問題を解決できるようにしていくため、表、式、グラフのどれをどのように用いたか、数学的に説明できる活動を充実していきます。

記述式の問題の正答率は、他の問題より低く、無解答率も高くなっています。なぜ無解答になっているのか、個々の状態を知って、学習指導に対応していく必要があります。

大問は長い文章資料となっています。まずそれらを落ち着いて読み取る手立てが必要です。そして、基本的な知識を基に、筋道を立てて考え、表現していく活動を、授業の中でも積み重ねられるようにしていきます。

